

アトリエ・ワン マイクロ・パブリック・スペース

2014年2月15日(土)～5月6日(火・休)

アトリエ・ワンの活動をかつてない規模で概観する展覧会

美術館で実際に体験できる「マイクロ・パブリック・スペース」作品の数々と、アトリエ・ワンが公共空間で観察・実践してきた事例を通して、美術館を含む公共の場（パブリック・スペース）のあるべき姿をさぐる展覧会です。

アトリエ・ワンとは

1992年に塚本由晴（つかもとよしはる 1965年～）、貝島桃代（かいじまももよ 1969年～）により活動開始。その関心は住宅から都市空間まで幅広く、その活動も研究から設計、まちづくり、美術展まで多岐にわたる。『メイド・イン・トーキョー』『空間の響き・響きの空間』『Behaviorology』など多数の著書があり、2010年のヴェネチア・ビエンナーレ国際展覧会など大規模国際展に多く出展している。名称の「ワン」は1 (one) ではなく、犬の鳴き声 (Bow-Wow) から。

マイクロ・パブリック・スペースとは

アトリエ・ワンはこれまでに様々な地域の歴史、文化や環境、そこに身を置く人々の振る舞いの調査をもとに、小さな構造物や家具によるインスタレーション作品を数多くの美術展で発表し、それらを「マイクロ・パブリック・スペース」と名付けてきました。

たとえば、10メートルにおよぶ長さを持った純白の屋台（ホワイト・リムジン屋台）や、読者をすっぽり包み込む書棚（マンガ・ポッド）のように、それぞれがユニークな機能と造形を備えています。それらは小さな建築であるばかりか、様々な人々が行き交い、活動することを支える装置であり、小規模ながらも多様な人々に開かれた場をつくり出すものです。

この展覧会では、彼らがこれまでに発表してきた代表的な作品に加え、広島のための新作も制作されます。

開催概要

【会期】	2014年2月15日(土)～5月6日(火・休)
【開館時間】	午前10時-午後5時 ※3月26日(水)～30日(日)、5月3日(土・祝)～6日(火・休) は午後7時まで開館 ※入場は閉館30分前まで
【休館日】	月曜日(ただし5月5日(祝)は開館)
【観覧料】	一般1,000(800)円、大学生700(600)円、高校生・65歳以上 500(400)円 ※()内は前売りおよび30人以上の団体料金 ※中学生以下無料 ※5月5日(月・祝)は高校生以下無料
【主催】	広島市現代美術館、中国新聞社
【後援】	広島県、広島市教育委員会、広島エフエム放送、尾道エフエム放送



アトリエ・ワン（塚本由晴、貝島桃代）
2013年、マツダスタジアム（広島）にて



《スクール・ホイール》
釜山ビエンナーレ、2006年
Photo: Won-woo Park



《マンガ・ポッド》
ニューヨーク、2008年



《ホワイト・リムジン屋台》
大地の芸術祭 越後妻有アートトリエンナーレ 2003、2003年

作品介绍 (一部)

【新作】《山水主義・広島》

本展覧会のために制作された作品。広島農業、林業、漁業に関連するモチーフが集められた檣（やぐら）によって、当館展示室を変容させます。上部には稲藁が掛けられ、農村の「ハデ干し」（稲木干し）の風景を想起させ、そして下部はカキ養殖で使用されるホタテ貝の連結が周囲を取り囲むように吊り下がり、水中から見たカキ筏のような外観を形作ります。内部に入り鑑賞することで、普段とは異なる視点から建築と展覧会を眺めることができ、それと同時に周囲から見られる存在にもなります。

【新作】パブリック・ドロ잉

アトリエ・ワンが設計計画を手がけた場所を中心とする、パブリック・スペースを描いたシリーズ。その名にある「パブリック」は、対象となっている場の公共性と、多数の人々が参加するという制作の公開性を指しています。本展覧会に際しては、広島平和記念公園周辺を対象とした新作を制作。加えて、2011年の東日本大震災での被害に応じて描かれた《1000年に学ぶ》の拡大版である《1000年に学ぶ。戻って住む。忘れない。》も展示します。

《マンガ・ポッド》

マンガ雑誌を活用した休憩所としての作品。長さの異なる棚板が環状に連結され、積層しています。棚板の連結部分は内側に入り込む箇所、外側に張り出す箇所が様々な角度で連続しているため、複雑な凹凸を持った、どこか愛嬌を感じさせる形態に。「ポッド」とは、豆類のさやのことであり、中に入る人は、さやに包まれた豆のように、周囲とは隔絶された空間で、マンガを読みふけることができます。

《スクール・ホイール》

移動できる教室の機能を持った作品。黒板塗料で塗装された箱形の本体には、前方は引き手が付き、リヤカーのように見える。また、後方はプレートと反射板が付き、店舗車両のような佇まいを見せている。教室としての機能部品は側面に集められ、片側には黒板が、そしてもう一方には48脚のイスが収納されている。人力で動かせるため、街中の空いたスペースがどこでも教室になり、そして誰もが先生、生徒になれるための装置になる。

《ホワイト・リムジン屋台》

屋台としての機能を持った作品。手軽な食事を路上で供する移動式店舗であることから、庶民的でカジュアルな存在の屋台と、豪華さ、快適さのために車体を延長させたストレッチ・リムジンという、落差のある2つのイメージが結びつけられています。通常の屋台が1.5m程度であることに對し、本作品では本体部分が10mにまで延長されているため、より多くの人々が集う交流の場となります。

《ファーニ・サイクル》

《ファーニ・サイクル》とは、ファーニチャー（家具）とサイクル（自転車）を組み合わせた名称で、文字通り自転車と家具を組み合わせた作品。イス、ベッド、テーブルがそれぞれ後ろ向きに備わった3種類のタイプが制作されています。本展出品作はそのうちのチェアサイクルとテーブルサイクル。自転車どうしは連結されておらず、一か所に集まることで、路上にリビングセットを出現させる作品です。

《ジャンボ折り紙アーチ》

紙という身近で扱いやすい素材を用い、折り紙のようにシンプルな加工を通して制作されたアーチ。材質となる紙のほか、定規やクリップがあれば制作でき、折り目を伸ばせば筒状に巻いて持ち運ぶことも可能です。



参考 / 《山水主義・広島》模型



《スクール・ホイール》
釜山ビエンナーレ、2006年
Photo: Won-woo Park



《ファーニ・サイクル》
上海ビエンナーレ、2002年



《ジャンボ折り紙アーチ》
第27回サンパウロ・ビエンナーレ、
2008年

トークや講演会から都市観察ランニングまで幅広く開催！ 展覧会をもっと楽しむための関連イベント

作家トーク+ギャラリーツアー

2月15日(土) 14:00～15:30

講師/アトリエ・ワン

会場/展覧会場内(集合:第1展示室《スクール・ホイール》)

※事前申し込み不要、要本展チケット(半券可)

アトリエ・ワンと走る都市観察ランニング

アトリエ・ワンとともに朝の広島市街を走り、いつもとは異なる視点で街を観察しましょう。ゆっくりとしたペースでの1時間程度のランニングです。

2月16日(日) 8:00～1時間程度

※事前申し込み不要、参加無料

※イベント詳細についてはホームページまたは美術館への問い合わせにてご確認ください。

講演会「アトリエ・ワンの都市・建築をめぐる振る舞い」

都市や建築空間を社会学の視点から考察する南後由和氏をお招きし、長年注目してきたアトリエ・ワンの活動や本展出品作品などを出発点に幅広くお話しいただきます。

3月8日(土) 15:00～16:30

講師/南後由和(明治大学情報コミュニケーション学部専任講師/社会学、都市・建築論)

※事前申し込み不要、要本展チケット(半券可)

講演会「そして小さな構造を」+ギャラリーツアー (広島市立大学共同企画「知のトライアスロン」)

日常での自然発生的な“場”の萌芽の実例を通し「マイクロ・パブリック・スペース」が生み出す空間についてお話しします。

3月15日(土) 14:00～15:30

講師/諏訪敦(広島市立大学芸術学部准教授)

※事前申し込み不要、要本展チケット(半券可)

「ジャンボ折り紙アーチ」をつくる

紙を折り畳んで大きなアーチを作るワークショップです。完成したアーチは美術館内に展示します。

2月22日(土)、3月22日(土)

いずれも 10:30～16:30

対象/高校生以上

会場/ミュージアムスタジオ

※事前申し込み不要、参加無料

※全時間参加が望ましい、昼食各自持参



「ジャンボ折り紙アーチ」をつかう

紙でできた大きなアーチを、設置して使ってみるワークショップです。館内外で面白そうな場所を探し、アーチの使い方を考えてみましょう。

4月12日(土) 10:30～15:00

対象/小学生以上 会場/ミュージアムスタジオ

※事前申し込み不要、参加無料

※全時間参加が望ましい、昼食各自持参

学芸員によるギャラリー・トーク

担当学芸員による作品解説ツアー!

一歩踏み込んだ展覧会の楽しみ方をご紹介します。

2月16日(日)、4月5日(土) 14:00～15:00

※事前申し込み不要、要本展チケット

マイクロ・パブリック・スペース連続イベント

いろいろな活用が可能なマイクロ・パブリック・スペース作品を利用したイベントを行います。実施希望者も申込受付中。

※日時、会場、内容についてはホームページまたは館内掲示板で随時最新情報を公開。

※参加には要本展チケット(イベントの場所、内容で異なる)

※イベント実施希望者は美術館まで連絡を。

【同時開催】

● コレクション展 2013- III 「コドクノチカラ」

開催中～2014年2月23日(日)

● コレクション展 2014- I 「○△□-美術のなかの幾何学的想像力-」

2014年3月15日(土)～6月8日(日)

【次回開催】

● 特別展「スリーピング・ビューティー」

2014年5月17日(土)～7月21日(月・祝)